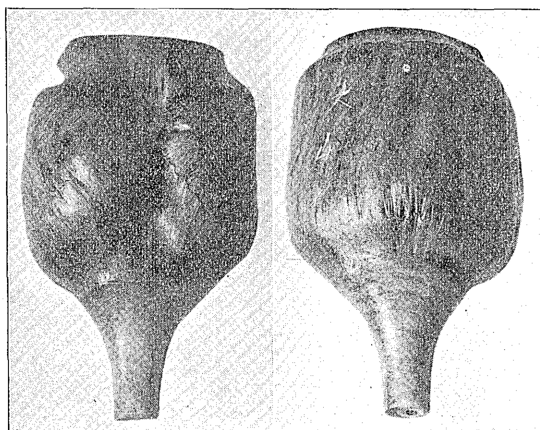
此所ニかきばかんこのきノ日本領内ニ於ケル分布ヲ地圖デ示スト圖ノ樣デアリ、屋久島ヲ北限トシテソレ以南ニ廣ク分布シテ居ル、次ニ本種ノ水濕地ニ生育シテ居ル事ニ關シテ特ニ注意スベキ事ハ、本種ガ所謂ル呼吸根ヲ持テ居ル事デ此ノ事實ハ本種ガ前述ノ如ク濕地ニ生育スル事ト生活型トガヨク一致シテ居ル。本樹ノ呼吸根ハ大ナ物ニ於テモ小指位ノ太サデ、普通ノ根カラ珊瑚狀ニ多數出テ居リ、多孔質デアル、此所ニ今一ツ注意ニアタイスル事ハコノ呼吸根ト起源ヲ同ジクスルト考ヘラレル、多孔質ノ柔弱ナ長イ根ヲシバシバ多數本種ガ水中ニ出シテ居ル事デアル。

○松ノ“木瘻”ヲ利用シタ「パイプ」（平塚直秀）

筆者ハ數年前、8月中旬ノ數日間ヲ寄生菌類ノ採集調査ノ目的デ、國立公園伯耆大山中腹ノ大山寺ニ滯在シタ事ガアツタ。ソノ折、トアル土産物店ノ店先デ寫眞ニ示ス樣ナ代物ヲ澤山見出シタノデ、1個ヲ買求メタ。松ノ“木瘻”即チ“松ノ瘤”ヲ利用シテ作ツタ「パイプ」デアツテ、「グロ」デモアリ、一寸ト實用ニハ供シ兼ネルモノデアルガ、珍奇ニ感ジタノデ御紹介スル次第デアル。然シ大山寺ノ土産物トシテ發賣シテ居ルコノ「パイプ」モ所謂“土産”デハナク、ソノ生レ故郷ハ遠ク關東地方デアルラシク、他地方デモコノ種ノ「パイプ」ガ土産物店ノ店頭ニ飾ラレテ居ルトコロガ澤山アルコトト思ハレル。



因ニ、コノ“松ノ瘤”ハ銹菌ノ1種、*Cronartium Quercuum* MIYABE ノ銹胞子時代ノ寄生ニ因ツテ出來タモノデアル。